

自閉症の医学



国立精神・神経センター精神保健研究所
児童・思春期精神保健部
神尾陽子

広汎性発達障害(PDD)

対人相互性・コミュニケーション・こだわり
を主症状とする症候群

PDDには

- 自閉症
 - アスペルガー障害
 - 「特定不能のPDD:PDD-NOS」
- 自閉症にもアスペルガー障害にも該当しない

などが含まれる

PDDの成因と疫学

遺伝要因と環境要因が複雑に相互作用する
多数の遺伝子が「なりやすさ」に関与する
成長過程での環境要因によって個人差が形成される
特定の原因は不明

有病率

- PDD全体では1%前後
- 男子に多い
- 自閉症は1000人に2-3人
- 増えているのはPDD-NOSで、そのほとんどが高機能群

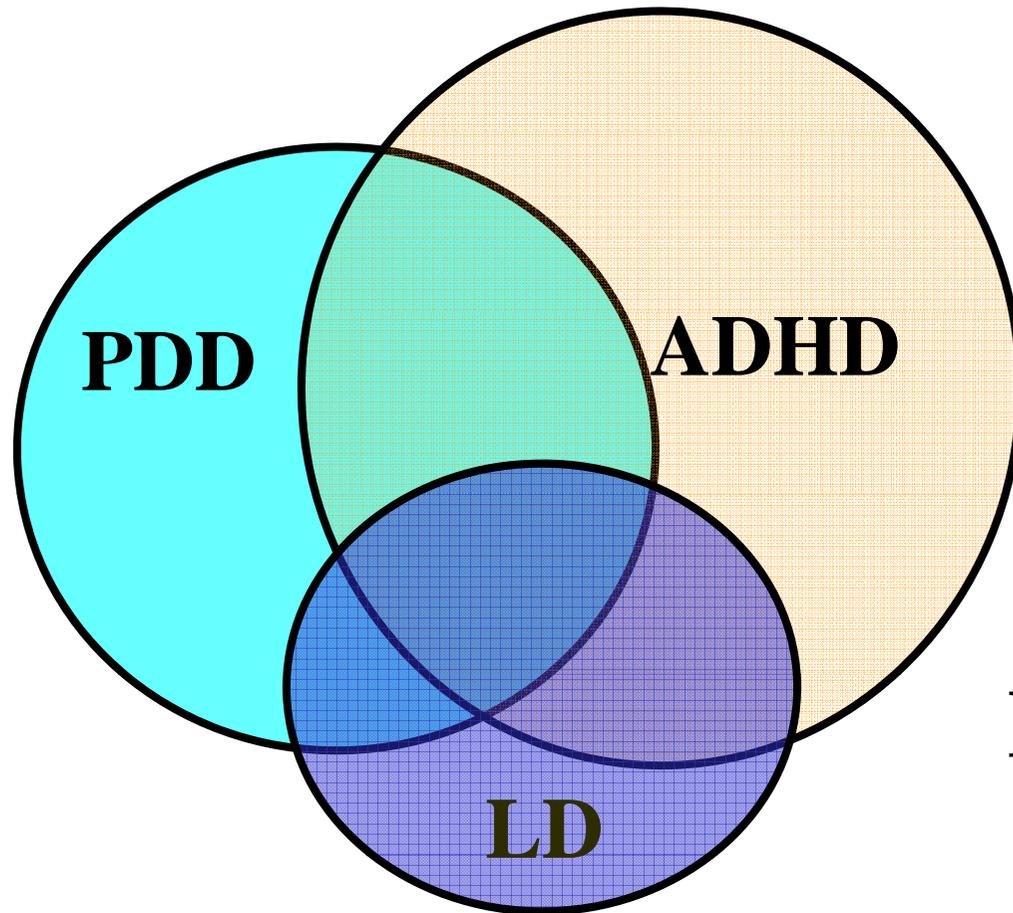
PDDの成因と疫学

遺伝要因と環境要因が複雑に相互作用する
多数の遺伝子が「なりやすさ」に関与する
成長過程での環境要因によって個人差が形成される
特定の原因は不明

有病率

- PDD全体では1%前後
- 男子に多い
- 自閉症は1000人に2-3人
- 増えているのはPDD-NOSで、そのほとんどが高機能群

発達障害の合併



ADHD+LD

PDD+ADHD

PDD+LD

PDD+ADHD+LD

ひとりの子どもが発達の複数の領域に
困難を抱えていることが多い

その他の併発症：PDD

PDDのある子どもには、情緒や行動の問題の併存も多い

- ADHDと関連して、破壊や攻撃などの行動の問題
- 不安、こわがり(パニック)、うつなどの情緒の問題
一部は不登校やひきこもりに
- チック、強迫、睡眠の問題
- てんかん

PDDの治療(1)

教育や福祉と共通する目標

社会性を育み、適応行動や自立行動を伸ばし、
家庭や集団生活でのQOLの向上を目標とする

早期から家庭と地域保健、教育、福祉との協力が
大切

医学的治療にできること:薬物治療

PDD症状に有効な薬物はない

不注意、多動、攻撃、睡眠障害、不安、うつ、強迫
などの併存症状の軽減を目的とする

PDDの治療(2)

医学的治療の限界

薬物治療は有効な場合もある
一方、薬物治療にのみ頼りすぎてはいけない

生活環境(学校や家庭)の見直し・調整
PDDの認知やコミュニケーションの弱さを考慮した
周囲の働きかけの内容の見直し・調整

学校や家庭での子どもについて、十分な情報交換
が医学的治療の効果をあげるためには必須である

PDDの予後

成長とともに、言語や対人面の能力は向上する。
それでもほとんどのケースではPDD症状が残存し、
社会生活・家庭生活に深刻な支障をきたしている。
PDD症状よりも、併発症のために生活に支障をきたすケースも少なくない。

知能の程度と成人後のQOLとは無関係。
心身の健康、家族や地域社会とのつながりが大切

早期からの支援と発達に応じた支援の継続が大切



医療との連携： どういう時に受診を勧めるか

- 診断を確定することで教育の方向性が決まる場合

診断確定、場合によっては診断書

- 併存する行動や情緒の問題が子どもの学校および家庭生活を損ない、人間関係を悪化させ、自尊心を著しく低下させている場合

併存症状の軽減、さらなる2次障害の予防

医療との連携： 受診を勧める際の留意点

辛抱強く、受診をすすめる目的(医学的専門意見を求める)を具体的に保護者に説明する

教室で問題があるからではなく、特別支援教育の参考に医学的専門意見が重要であることを強調して、保護者の理解を得る

医療との連携： 受診することになったら

受診時には、普段の学校での子どもをよく知る教師から医師への紹介の手紙を用意する(とても参考になる)。事前に保護者と内容をオープンにして話し合っておくとよい

学校と協力関係にある児童精神科のある医療機関が理想的
なければ保護者が相談しやすいかかりつけの小児科医から小児神経や児童精神の専門医を紹介してもらう

医療との連携： 診療が継続される場合

子どもは成長とともに変化も大きい

節目ごとに、その時々の子どもの医療情報を知ることは、発達段階に応じた教育上の配慮を行ううえで重要

医師との情報交換には保護者の了解をとって行う

子どもは 一人ひとりユニークな存在

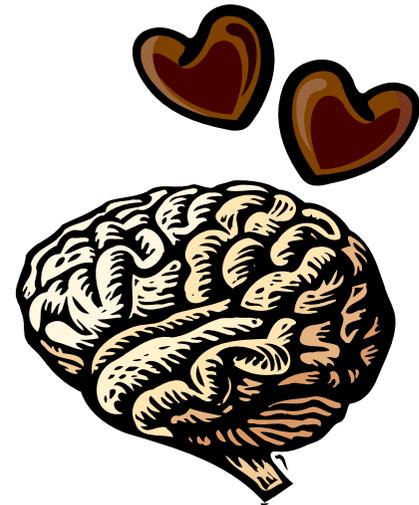
性格

知能(強さ、弱さ、高さ、低さ)

家庭環境(価値観など)

障害特性

併発症の有無や種類



- 子どもは、これらの制約のなかでも、それぞれの経験を重ねながら成長し、変化していくもの
- 発達障害の特性は持続するが、その程度や併発症は年齢とともに変化する可能性がある
- 年齢に応じた医学情報が有用

自閉症の医学

終わり



国立精神・神経センター精神保健研究所
児童・思春期精神保健部
神尾陽子